



2017

SEASON TOURNAMENT

RULE BOOK

— 2017.3.6版 —

参加者はここに書かれている事を覚え、理解すること。
疑問、不明な点等は大会開始までに STAFF に確認すること。

1. 受付

- ・ 参加者は、当日の受付場所にて NaritaAirportBasser21 (以下 NAB21) スタッフが配付するエントリー用紙を受け取り、必要事項を記入する。
- ・ エントリー用紙の中にゼッケンを記入する項目がありますが、ランキング表を掲示していますので、確認のうえ記入してください。ゼッケン番号は 3 月 15 日頃にホームページにて発表されます。当日入会した人には受付時にゼッケン番号は配布いたします。
- ・ エントリーフィーは、
1day 戦：5,000円
- ・ マイボート持込の場合、スロープ使用料がかかりますが、ふな一ボートのスロープを使用する場合は、受付時に徴収いたします。
- ・ アサヒナボートのスロープ使用料は各自でお支払いください。
- ・ 印旛沼で釣りをする場合、トーナメント時を問わず**遊魚券が必要**です。各ボート店にて販売しています。(日券¥500ー、年券¥3000ー)
- ・ ライブウェルについて
 - ・ 受付終了後、しばらくしてからスタッフがライブウェルチェックに行きますので、チェック完了後エントリー用紙に確認印をもらって下さい。
 - ・ タックルチェック時、選手はボート付近で待機すること。
 - ・ ライブウェル以外のストレージなどもチェックする可能性もあります。
 - ・ ストレージチェックはランダムで行い、アサヒナ側 2 艇(非公表)ふないち側 2 艇(非公表)をおおよその目安とし、疑わしき者がいる場合はその都度行うものとする。
- ・ 大会及びプライベート釣行時でも阿宗橋脇のスロープから船を下ろすことを禁止します。
- ・ ふな一ボートとアサヒナボートの間にある漁業関係者用の場所への侵入を禁止いたします。目印としてロープが張られているので中に入らないで下さい。
- ・ 受付時には**船舶免許、遊魚券、保険証書(コピー可)、エントリーフィー、スロープ使用料(ふな一スロープ利用者のみ)**を用意してください。
※ 保険証書については、試合当日有効であること。また、証書が発行遅延等でない場合、加入を証明できる振込証書などを提示のこと。
- ・ 印旛沼での人身事故・物損事故を想定して、持ち込みボートオーナーはボート保険の加入を義務とする。

エントリー用紙の扱いについて

- ・ エントリー用紙の半券は、試合終了まで各自が保管し、帰着申告時に本部へ提出。
- ・ 尚、帰着時に紛失していた場合、また、ライブウェルチェックの確認印がない場合は**失格**となります。

2. ミーティング

- ・ 大会毎に必ず行います。ここで、帰着時間を発表いたしますので確認してください。
- ・ 参加者からの質問や情報提供も受け付けていますので、何かあればよろしくお願い致します。

3. スタートフライト

- ・ 1day 戦及び 2day 戦初日はゼッケン順に 1 艇ずつスタートします。その際はスタートコールを致しますのでスタッフの指示に従ってスタートしてください。
- ・ スタートはミーティング終了後、速やかに行いますので、参加者の方は準備の方をよろしくお願い致します。

4. 競技規定

- ・ 対象魚は 30 cm 以上のブラックバスのみです。
- ・ 1 日のリミットは 3 匹までとなります。ライブエルで確保できるのも 3 匹までです。4 匹目以降は入れ替えを行ってください。
- ・ 釣方はルアーフィッシングに限ります。
- ・ NAB21 では、今後バーブレスフックの使用を推奨して行きますのでご協力ください。
- ・ NAB21 では、今後エコタックルの使用を推奨して行きますのでご協力ください。

アラバマリグ等（Aリグ、アンブレラリグ、etc.）の使用について

アラバマリグ等の複数ルアーを同時に使用するリグについては、フックが装着できるルアーは一つだけとする。

5. エリア規定

- ・ トーナメントエリア全てを**航行要注意エリア**とします。
- ・ 航行要注意エリア＝基本的に他人に迷惑をかけない航行とし、場合によっては、デットスローやエレキにて航行する。
- ・ 網に対しての釣り行為は禁止です。また、網を船で乗り越える行為も禁止です。網は必ず迂回してください。
- ・ トーナメントエリアは酒直水門より印旛沼側全域となります。但し、桑納川、師戸川(船戸大橋脇の川)、長門川、将監川、利根川は禁止とします。
- ・ 2day 戦 2 日目は禁止エリアが一部拡大しますので注意して下さい（下記禁止エリア参照）

• **デッドスローエリアについて**

印旛新川	阿宗橋手前のカーブにある座礁船 ~ 平戸橋横導水管
捷水路	西部本湖捷水路入口 ~ 浅間橋 鶴巻橋 ~ 北部本湖捷水路入口
西部本湖	鹿島川河口航路杭 ~ 飯野竜神橋 本湖土浮周辺の浚渫工事パイプ前後 50m ※工事が行われてパイプがある場合に適用します。
鹿島川	佐倉橋 から上流
甚兵衛広沼	高橋ボート棧橋 ~ 宗吾機場
その他	橋脚のある橋や導水管の下前後 50m (捷水路山田橋、甚兵衛広沼北総線下、新川各橋・導水管)

- **前日プラクティスも同様である。**

(デッドスロー緩和エリアについて)

- 2014 年より緩和された下記エリアについては、プレーニング可能とするが、カヌー・釣り人等、水面利用者がいた場合はデッドスローとする。
- また、無理な追い越し・追い抜きをしないこと (2 艇間が安全な距離がとれない場合、3 艇並走するような形、対向する船が滑走中の時等)

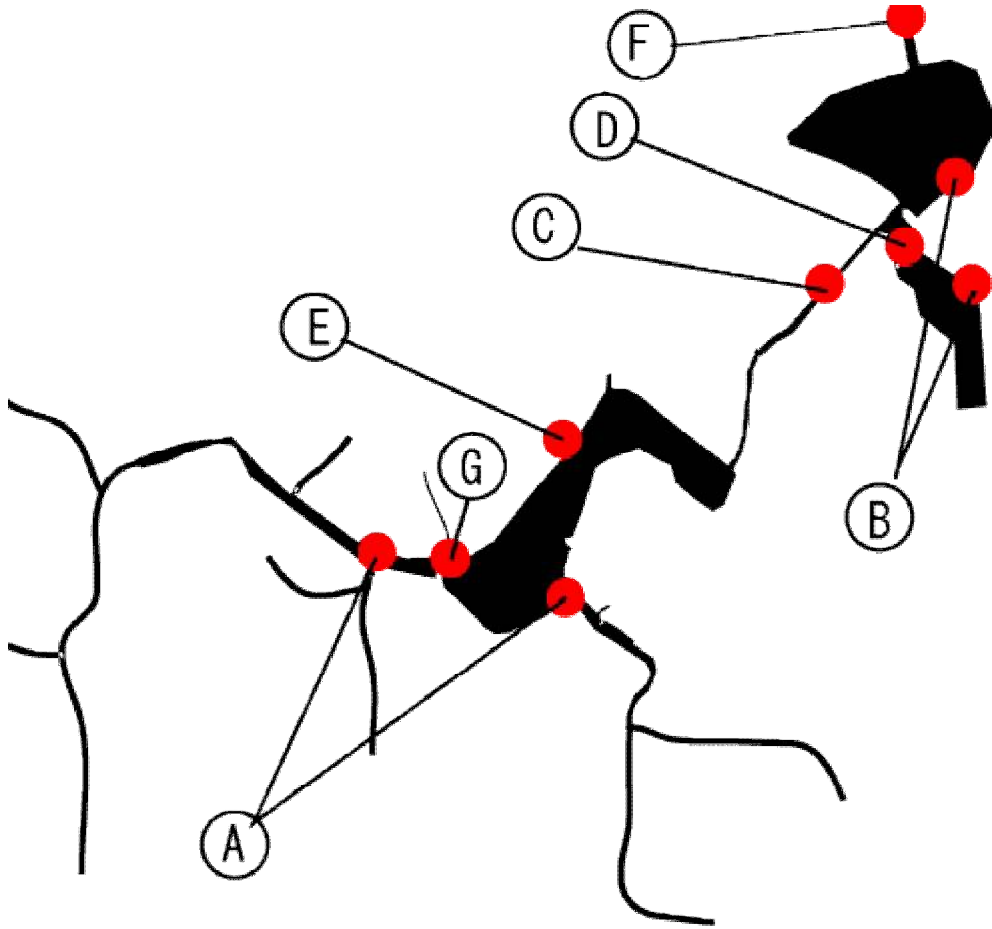
鹿島川	飯野竜神橋~佐倉橋
捷水路	浅間橋~鶴巻橋
印旛新川	平戸橋導水管~大和田機場

- 緩和エリアについて、安全な走行を守らない選手を発見・報告などがあった場合、次戦よりデッドスローエリアに戻す場合があります。

• **デッドスローの定義について**

- **引き波を立てないで走行することを大前提とする。**
- デッドスロー中にエンジンによっては、エンスト等が起こってしまうことがある場合、以下を目安とする。
 - ① エンジン回転数 1,100rpm 以下、又は、時速約 7km 以下 (GPS など利用) で航行する。
尚、この基準は最大値の目安であり、これ以下で航行可能な場合は、航行可能速度で航行すること。
 - ② 危険回避や荒天など為に、目安を超えることは問題ありません。

● 航行注意エリア及び禁止エリア



(図1)

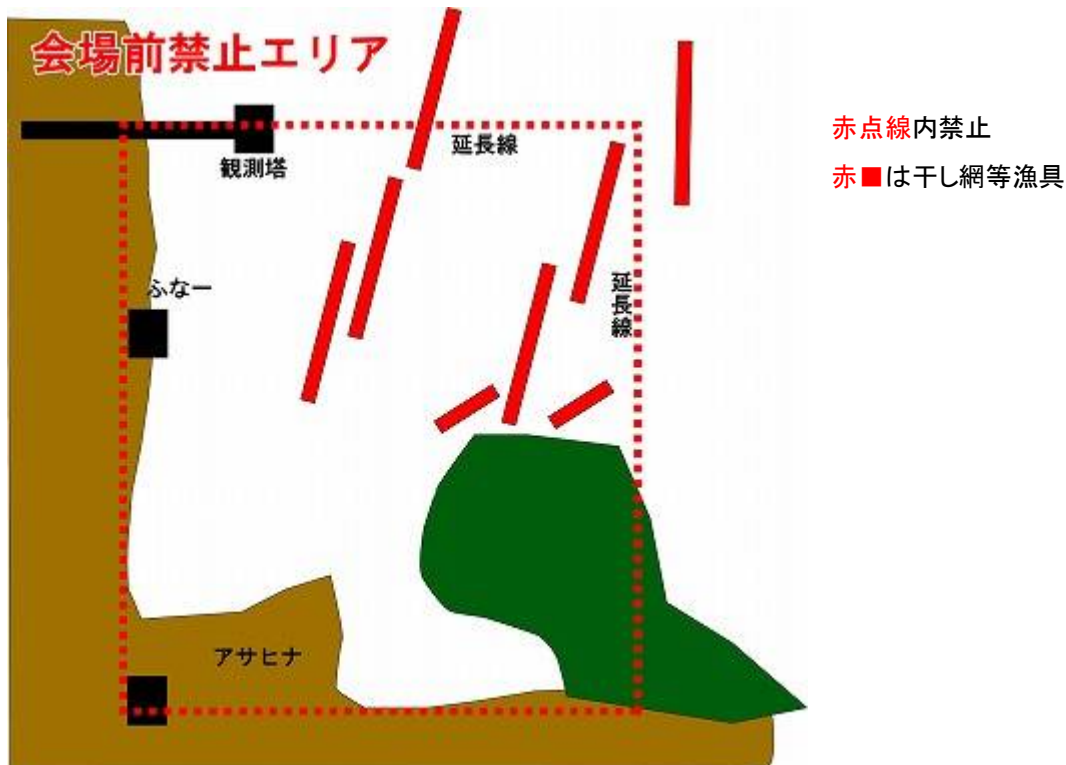
- ・ 鹿島吐出し～竜神橋、新川手繰川沖の航路杭間は、杭と杭の間をデッドスローの右側通行で航行すること。**追突注意!** (図1:A)
- ・ [2017年変更] 捷水路の案能橋～東橋間については仮設の杭が存置されているため、安全を考慮し、引き続き、この区間を釣り**禁止エリア**とします。但し、航路については今後の工事進捗に合わせて変更となる可能性があるため、ミーティング時に説明します。(図1:C)
- ・ 鉄橋工事のため甚兵衛広沼の航路にご注意ください。(図1:D)
- ・ アサザ保護区として定めていたエリアの禁止事項を撤回いたします。(釣りOK) (図1:E印)
- ・ 漁業施設(水草育成エリア)のインサイドへのキャスト及び侵入は禁止いたします。(図1:B印)
- ・ 甚兵衛広沼については網や杭が多く、航路の判別が難しいため甚兵衛広沼全域を**航行注意エリア**とする。

[2017年追加事項]

- ・ 長門新堀の酒直水門から手前200m区間は**釣り禁止エリア**(図1:F)
(右側貸しボート屋の辺りに均等に目印の竹杭等が両岸から沖に一直線に数本立っています)
- ・ 船戸大橋付近については、当面、仮橋の端(本湖側)から導水管の端(新川側)までを**釣り禁止エリア**とします。(図1:G)

会場前禁止エリア

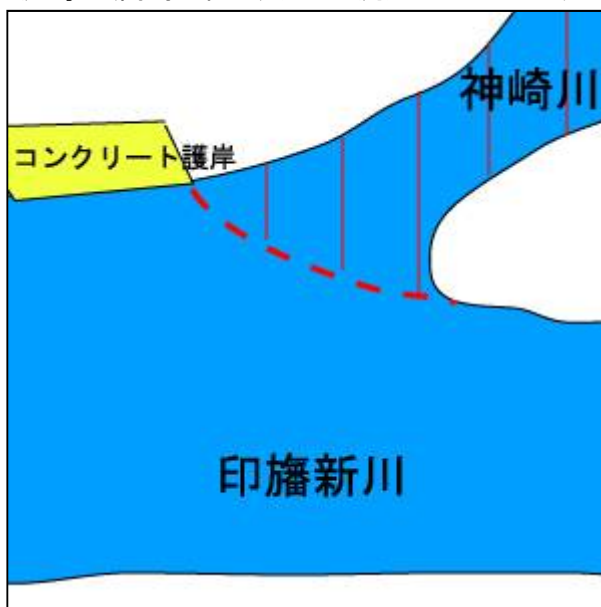
- ・ 会場前観測塔の延長線とアサヒナ横アシ山頂点外側の延長線を結ぶエリアを釣り禁止エリアとする。(図2)



(図2)

● 流入河川エレキ走行ルール

鹿島川(高崎川含む)以外の流入河川内は全域河口部よりエレキ走行とする。(図3)



● 対象流入河川

- ・ 手繰川、小竹川
- ・ 神崎川
- ・ 岩戸川
- ・ 江川

※河口部とは兩岸突端部の延長線を結ぶライン手前程度から。

※神崎川の境界線については図3の西岸水門のコンクリート護岸と土手の境から東岸岬先端部を結ぶラインより。

(図3)

※ 細心の注意を心がけて行動してください。

※ 迷惑行為があったエリアを釣り禁止にする場合もあります。

- 航行違反に関するペナルティについて (前日プラクティスを含み)
 - ・ デッドスロー違反は**マイナス1,000g**とする。
 - ・ 危険走行は**失格**とする。

6. 帰着

- ・ 帰着時間は、朝のミーティング時に発表します。(基本は 13 時)
- ・ 帰着受付はスロープ横のステージで行っていますので忘れずにチェックを済ませてください。
- ・ **帰着遅れは失格**とする。ただし、**連絡がある場合は参加ポイントを付与**する。
- ・ 突然天候が悪化し危険と感じた場合は、早急に避難し、身の安全を確保すること、この場合の上陸は認めるものとし、避難後はエントリーカードの緊急連絡先に必ず連絡を入れること。(くれぐれも避難を優先してください)
- ・ 競技中に体調不良や怪我、緊急を要する場合の競技放棄を認めます。その際は必ず緊急連絡先に連絡を入れてください。
緊急を要する場合、競技放棄した者で連絡がある場合は、参加ポイントの権利を残すものとする。

7. 検量

- ・ 帰着申告の際に、予想ウエイトをお聞きして、予想ウエイトの軽い順にこちらからコールいたします。
- ・ 検量の際、デットフィッシュの危険がある場合はスタッフに申し出てください。優先的に検量を行います。
- ・ フック飲みは、申告していただければ、そのまま検量いたしますが、申告がない場合で発覚した場合は、その魚を検量対象外とする。
- ・ デットフィッシュは検量対象外とする。
- ・ 検量時に 30cm 未満の魚がいた場合はその魚を除いたウエイトから**マイナス 1,000g**が科せられます。
- ・ キーパーサイズの計測は口を閉じた状態での計測とする。尾ひれに関しては特に定めを設けない。

8. 入賞規定

- ・ 参加人数によって決定いたします。基本、1位から5位までの表彰となります。
- ・ 検量後に表彰式を行います。選手は必ず出席してください。尚、特別な事情等の早退する場合は、事前にスタッフへ直接連絡してください。

●順位規定

- ・ 3尾総重量で争います。同重量の場合はゼッケン順とする。

●表彰者の責務規定

- ・ 5位までの入賞表彰者は、**大会終了後14日以内**に NAB21 本部宛に入賞コメントを寄稿すること。(メール投稿先アドレス honbu21@nab-21.com)
尚、寄稿手段はEメール投稿を基本とし、使用できない場合代替手段を認める。
- ・ 寄稿する内容は、釣果のあったタックル詳細・エリア詳細・プラクティス状況・試合当日の状況詳細・入賞感想や自己PRを記載し、最低400文字程度を目安に記載すること。
尚、400文字を超えて、より詳細の文章は歓迎いたします。
- ・ 以上2点に反する場合、次戦参戦時に**マイナス1,000gのペナルティ**を科す。
- ・ 事故・病気等で責務全うできない等、正当な理由の申告がある場合は、ペナルティを科さない。

●年間表彰規定

- ・ 各大会にポイント制度を設けており、順位ポイントと重量ポイントの総合計ポイント1位をアングラオプザイヤー(AOY)として表彰いたします。
- ・ 同ポイントになった場合はゼッケン順になります。
- ・ 年間5戦分のデータを対象とし、順位ポイントとの合計と、総重量順位の重量ポイントの総合計ポイントで争う。
- ・ 順位ポイント、1位30p 2位29p 3位28p・・・25位6p 以下一律5p
- ・ 重量ポイント、1位50p 2位49p 3位48p・・・50位1p

※重量ポイントは年間の総重量の重い順に付くポイントです。

9. 前日プラクティス規定

- ・ 大会前日は大会エリア規定を適用しますので、航行やエリアなど遵守してください。
- ・ 大会前日は魚のキープするためのライブウェルの使用を禁止いたします。

トロフィーサイズ特別処置の適用

- ※ 金バッチトロフィーサイズ(50cm 以上)のバスをふな一ボート認定計測する場合のみライブウェル使用を認める。尚、この場合は釣り上げてからすぐにふな一に持ち込むこと。また計測後は速やかにふな一前にて逃がすこと。(釣った場所に戻す等禁止)

10. その他

- ・ スタート前に濃霧や悪天候により航行に支障が出る場合は、危険と判断し、スタートを遅らせることがあります。
- ・ 当日、悪天候が予想される場合に、会長とスタッフで協議した後、大会を中止する場合があります。
- ・ 中止の連絡は、荒天の予想確率が高い場合に限り、できるだけ早めにメールやホームページ等で事前にご連絡いたします。
- ・ 競技中に起こる、事故、盗難、怪我などは、個人で対処する事とし、クラブに責任を問わないものとする。
- ・ 競技中は NAB21 識別の黄色いスパイラルを装備すること。**未装備の場合はペナルティとしてマイナス1,000g**を課す。(2015.1.20 追記)
- ・ **悪質なルール違反は失格**とする。(2015.1.20 追記)
- ・ 当日の状況により、ルールを一部変更する場合があります。
- ・ NAB21 ではゴミの持ち帰りをおねがいしていますので宜しくお願いします。
- ・ 緊急連絡先はエントリーカードに記載しています。
- ・ **夜間ふな一周辺での車中泊を行う際は、エンジンを切るようにして下さい。**
- ・ **ルール違反や不正行為を目撃した場合は、NAB21 スタッフに報告をすること。**
- ・

以上 疑問・不明な点等は事前に NAB21 スタッフに確認してください。